

2015年3月12日

Press Release

楽天株式会社

楽天トラベル、「シニア層の国内宿泊旅行に関する意識調査」

結果を発表

- 夫婦旅行で『平日割引』を狙う動き -
- 首都圏の8割以上が、北陸新幹線を利用する旅行を希望 -

楽天株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：三木谷浩史）と三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンク、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区 社長：藤井秀延）は、共同調査として「2015年 シニア層の国内宿泊旅行に関する意識調査」を実施しました。今回の調査は、2015年2月5日～7日の3日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、東海圏（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）、関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県）の3地域在住の60代～70代の男女1,800人（各地域600人、男女均等、過去1年間に宿泊旅行を経験している人）を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

■旅行をするのは「平日が多い (37.1%)」「ほぼ平日 (27.9%)」。混雑回避や『平日割引』を狙った平日志向

昨年実際に旅行した日について、休日・平日の実態を聞いたところ、「平日が多い (37.1%)」が最も多く、「ほぼ平日 (27.9%)」と合わせると 65.0%となり、逆に「休日が多い (6.4%)」、「ほぼ休日 (4.4%)」を合わせると 10.8%となっていることから、圧倒的に平日志向が高いことがわかる。また、「平日が多い」及び「ほぼ平日」と回答した人に平日利用の理由について聞いたところ、「宿、交通機関が空いている (69.8%)」、「予約がとりやすい (68.2%)」、「価格が安い (61.6%)」となっており、休日と比較した旅行のしやすさが挙げられている。

■旅行相手は「夫婦」が最も多く、次いで「友人・グループ」。女性70代は「友人・グループ」が約半数

国内宿泊旅行における旅行相手についてあてはまるものを聞いたところ、「夫婦 (65.3%)」、「友人・グループ (42.4%)」が大半を占める。また、最もあてあまるものをひとつだけ聞いたところ、「夫婦 (51.1%)」が約半数となっている。性別の比較では、男性における「夫婦」が女性よりも 12.7ポイント高いのに対し、女性における「友人・グループ」が男性よりも 9.4ポイント、「家族 (子供と)」が 10.5ポイント高いのが特徴となっている。また年代別 (60代・70代) の比較では、60代において「夫婦」が70代よりも 5.7ポイント高いのに対し、70代における「友人・グループ」が60代よりも 9.6ポイント高くなっているのが特徴となっている。

■「国内旅行で行きたいエリア」のトップ5は、北海道、九州、東北、沖縄、北陸。

国内旅行で行きたいエリアについて聞いたところ、全体では「北海道（59.2%）」が最も多く、「九州（48.4%）」、「東北（43.8%）」、「沖縄（41.4%）」、「北陸（35.3%）」と続く。この順位は居住地に関わらずすべて同じ順位であり、観光地とそのもの持つ需要を示す順位だと考えられる。地域別の傾向では、首都圏における「北陸」への意向が東海圏よりも6.7ポイント、関西圏よりも8.8ポイント高くなっている点が注目される。これは、北陸新幹線開業による需要の高まりであるものと推測される。

■首都圏の8割以上が、北陸新幹線を利用する旅行を希望（全体でも68.3%が希望）

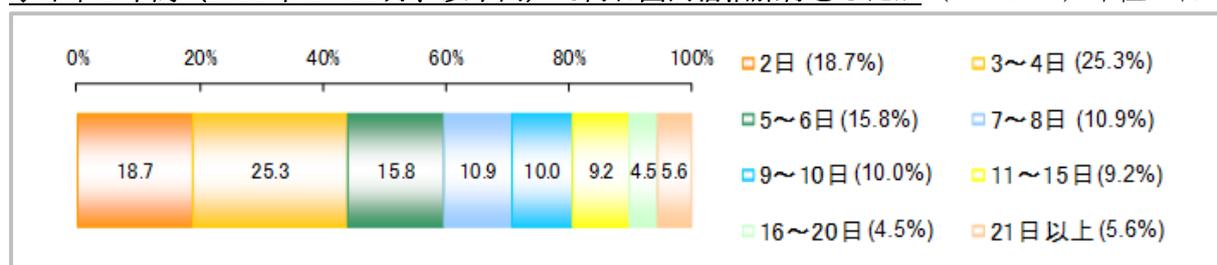
3月14日に金沢・富山～東京間の開業を迎える北陸新幹線を利用する旅行について聞いたところ、全体では「とても行きたい（16.8%）」、「まあ行きたい（51.5%）」の合計68.3%が旅行意向を示している。居住地域別では、首都圏が他地域よりも圧倒的に多く、「とても行きたい（28.2%）」と「まあ行きたい（55.3%）」を合計すると83.5%の人が北陸新幹線を利用する旅行への意向を示している。また、東海圏でも54.8%、関西圏でも66.5%と半数以上の人が意向を示している点も注目される。

■□ 調査結果 □■

■年間の国内宿泊旅行日数は、3～4日が最も多く、6日以内が約6割。1泊旅行も2泊以上の旅行も年1回が約3割

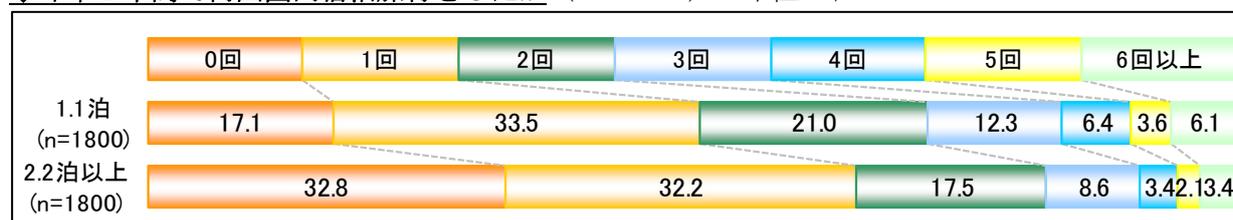
昨年1年間の国内宿泊旅行の日数（1泊及び2泊以上）について聞いたところ、「3～4日（25.3%）」が最も多く、「2日（18.7%）」、「5～6日（15.8%）」と続き、6日以内で約6割（59.8%）を占める。逆に「11日以上」は合計で約2割（19.3%）となった。

◇昨年1年間（2014年1～12月、以下同）で何日国内宿泊旅行をしたか（n=1800）単位：%



また、1泊旅行の頻度は、「年1回（33.5%）」が最も多く、次いで「年2回（21.0%）」となっており、年2回以内で54.5%と半数以上を占める。2泊以上でも同様に「年1回（32.2%）」、「年2回（17.5%）」で49.7%と約半数を占める。

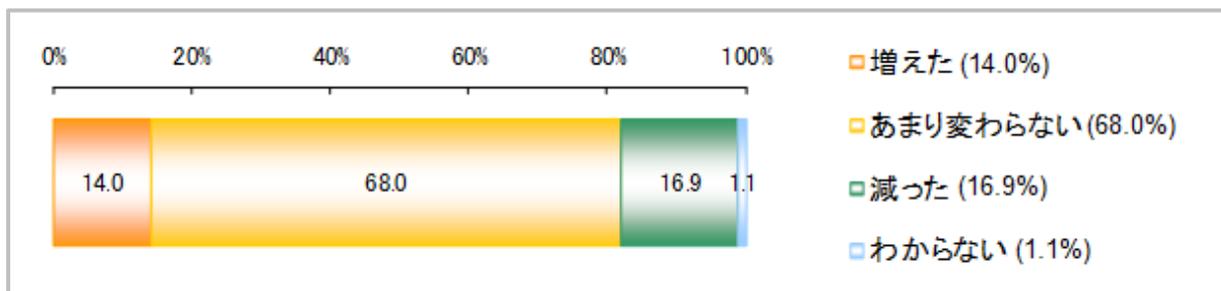
◇昨年1年間で何回国内宿泊旅行をしたか（n=1800）単位：%



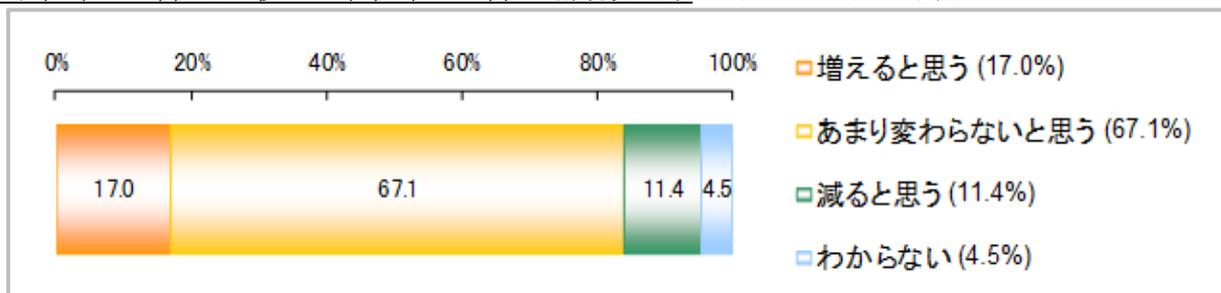
■昨年と比べて今年の旅行意向は、「増える」が17.0%に対し、「減る」が11.4%と、増加に期待

昨年と一昨年の旅行実態の比較については「減った(16.9%)」が「増えた(14.0%)」を上回った。それに対し、昨年と比較して今年の旅行見込みが「増えると思う(17.0%)」が「減ると思う(11.4%)」を上回っていることから、今後の旅行増が期待される。

◇一昨年(2013年)と比較した昨年(2014年)の旅行実態 (n=1800) 単位：%

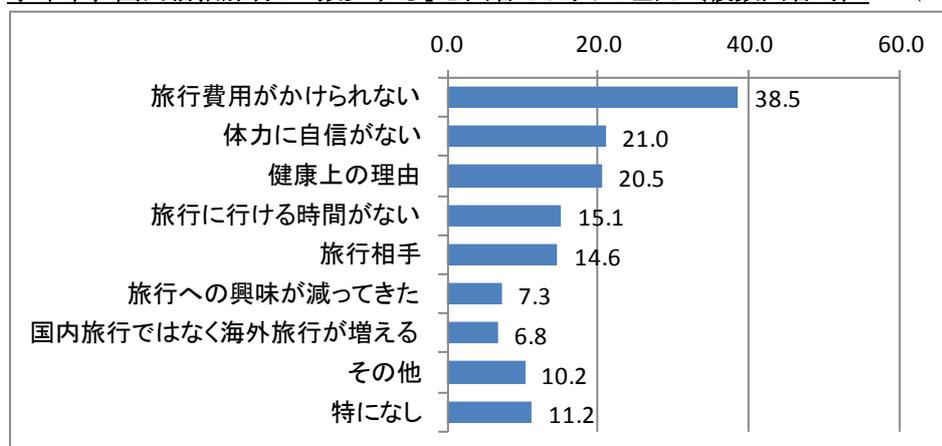


◇昨年(2014年)と比較した今年(2015年)の旅行見込み (n=1800) 単位：%



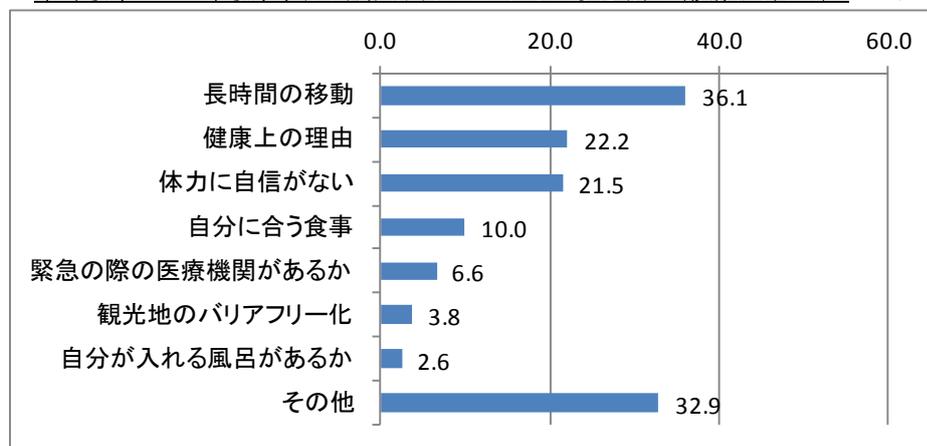
上記回答者のうち、今年、国内宿泊旅行が「減ると思う」と回答した人に理由を聞いたところ、「旅行費用がかけられない(38.5%)」が最も多く、以下「体力に自信がない(21.0%)」、「健康上の理由(20.5%)」、「旅行に行ける時間がない(15.1%)」と続いており、「費用」、「体力・健康」、「時間」が旅行機会を減らす要因となっていることがわかる。

◇今年、国内宿泊旅行が「減少する」と回答した人の理由(複数回答可) (n=205) 単位：%



また、全ての回答者に、今後（2～3年後）の国内宿泊旅行における不安要素を聞いたところ、「長時間の移動（36.1%）」、「健康上の理由（22.2%）」、「体力に自信がない（21.5%）」が上位となっている。

◇今後、2～3年後、国内宿泊旅行における不安要素（複数回答可）（n=1800） 単位：%

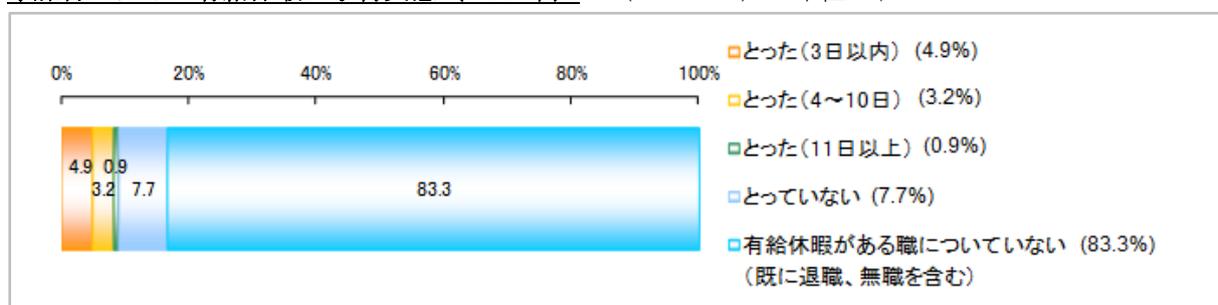


■有給休暇取得意向のある人のうち、94%が有給休暇を取得できる可能性があるとは回答

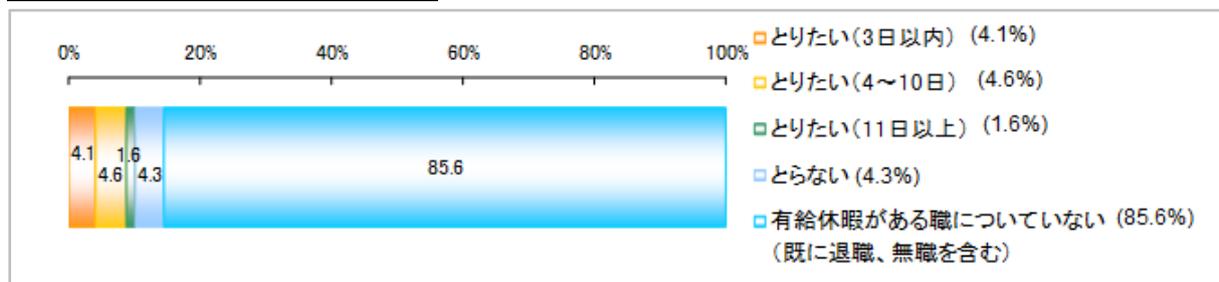
国内宿泊旅行のための有給休暇の取得実態及び取得意向について聞いたところ、シニア層の実態としては、そもそも「有給休暇がある職についていない」と回答した人が83.3%と大半を占めている。昨年に有給休暇をとった人は全体の9.0%で、そのうち最も多いのが「3日以内（有給休暇をとった人のうち54.4%）」で半数以上を占める。

また、今年1年で国内宿泊旅行のための有給休暇をとりたいという人もほぼ同じ割合となっている。（有給休暇がある職についていない人が実態よりも増えているのは、この1年に退職等をされる人がいるものと推測される。）それらの有給休暇取得意向者のうち、実現性について聞いたところ「確実にとれる（45.9%）」、「とれると思う（48.1%）」となっており、94.0%の人が取得の可能性を示している。

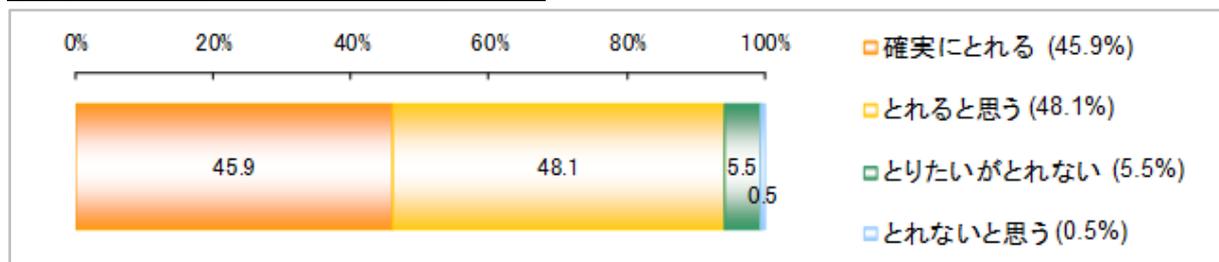
◇旅行のための有給休暇の取得実態（2014年）（n=1800） 単位：%



◇旅行のための有給休暇の取得意向 (n=1800) 単位：%



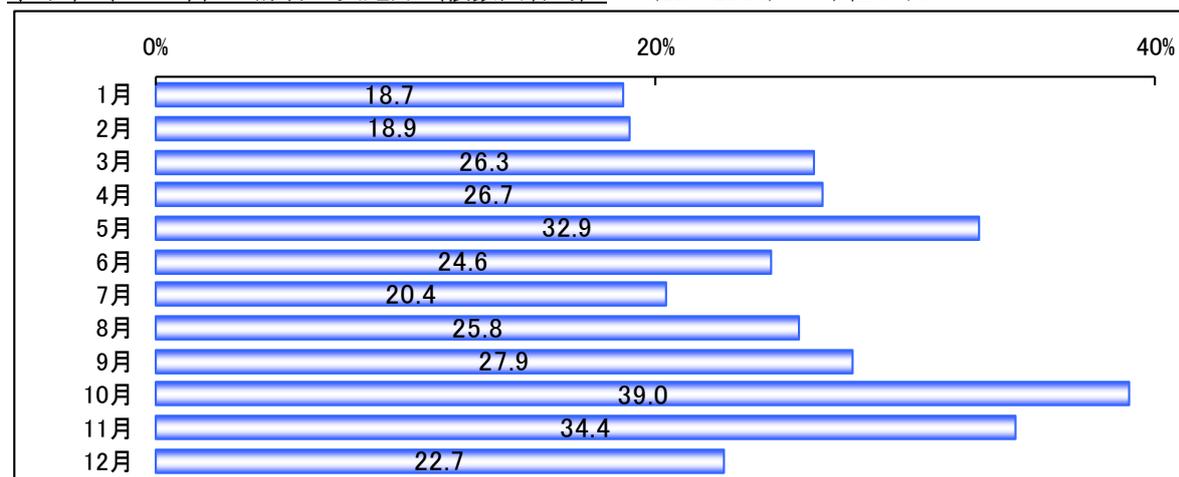
◇有給休暇の取得意向がある人の取得可能性 (n=183) 単位：%



■旅行時期で最も多いのが10・11月

昨年、実際に旅行した時期について聞いたところ、「10月(39.0%)」が最も多く、「11月(34.4%)」、「5月(32.9%)」、「9月(27.9%)」、「4月(26.7%)」と、過ごしやすい気候の秋及び春の旅行が多い。

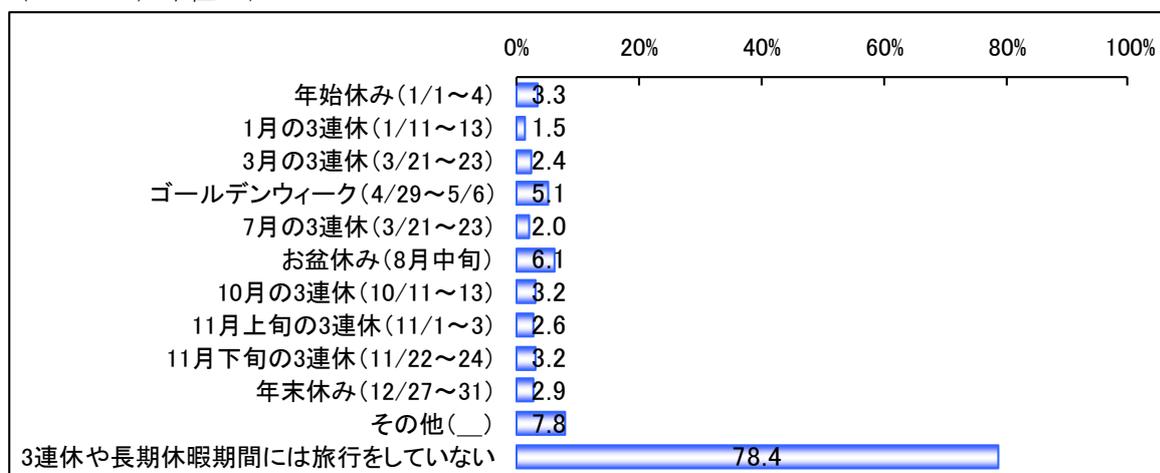
◇昨年(2014年)の旅行の実施月(複数回答可) (n=1800) 単位：%



また、昨年実際に旅行した時期について、3連休や年末年始・お盆休み・3連休などにおける旅行実態を聞いたところ、それらの時期に旅行していない人が78.4%と大半を占め、一般的に混雑が予想される時期は避けられる傾向がみられた。

◇昨年（2014年）の旅行における年末年始、3連休等の旅行実態（複数回答可）

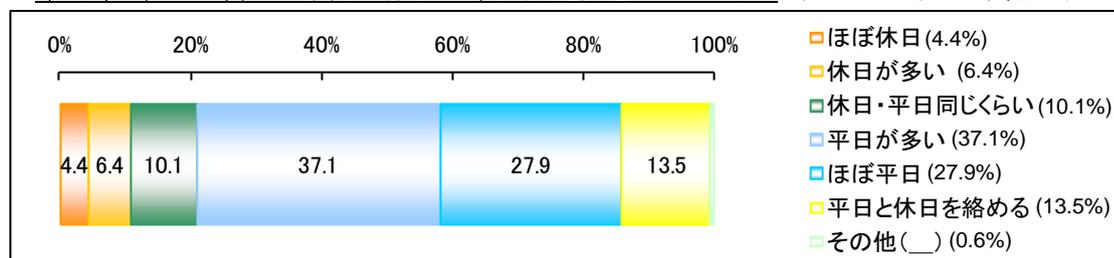
（n=1800）単位：％



■旅行をするのは「平日が多い(37.1%)」「ほぼ平日(27.9%)」。混雑回避や『平日割引』をねらった平日志向

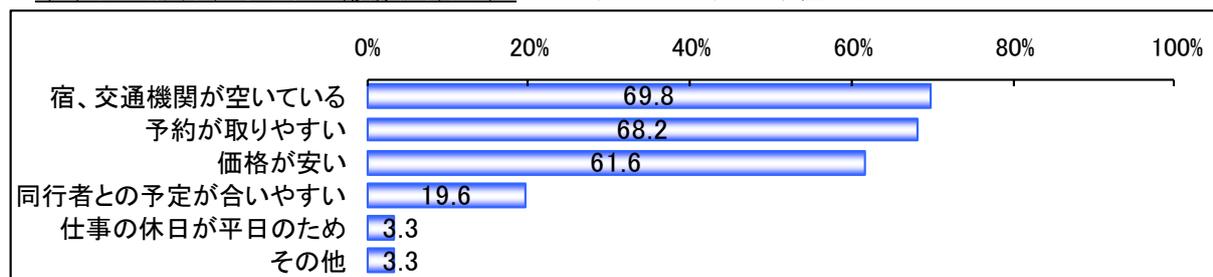
昨年実際に旅行した日について、休日・平日の実態を聞いたところ、「平日が多い(37.1%)」が最も多く、「ほぼ平日(27.9%)」と合わせると65.0%となり、逆に「休日が多い(6.4%)」、「ほぼ休日(4.4%)」を合わせると10.8%となっていることから、圧倒的に平日志向が高いことがわかる。

◇昨年（2014年）の旅行の休日・平日実施実態について（n=1800） 単位：％



また、「平日が多い」及び「ほぼ平日」と回答した人に平日利用の理由について聞いたところ、「宿、交通機関が空いている(69.8%)」、「予約がとりやすい(68.2%)」、「価格が安い(61.6%)」となっており、休日と比較した旅行のしやすさが挙げられている。

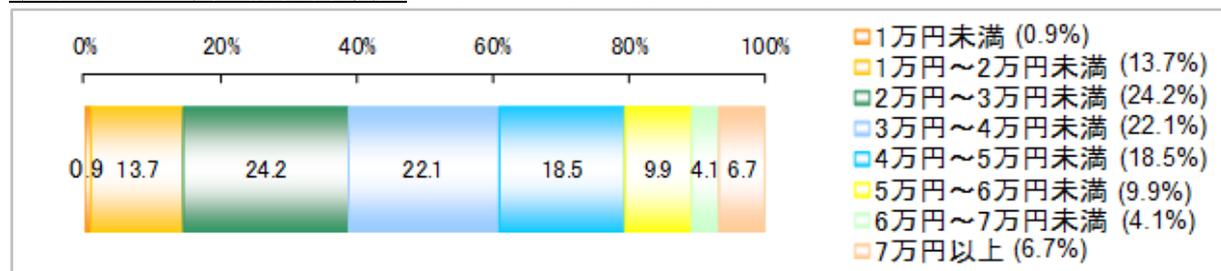
◇平日に旅行する理由（複数回答可）（n=1595） 単位：％



■1回あたり国内宿泊旅行の費用は2~4万円

1回あたりの国内宿泊旅行の費用について聞いたところ、「2万円～3万円未満（24.2%）」と「3万円～4万円未満（22.1%）」を合わせると46.3%となっており、概ね2～4万円あたりが平均的な費用となっている。

◇1回あたりの国内宿泊旅行費用（n=1800） 単位：%



■旅行相手は「夫婦」が最も多く、次いで「友人・グループ」。女性70代は「友人・グループ」が約半数

国内宿泊旅行における旅行相手についてあてはまるものを聞いたところ、「夫婦（65.3%）」、「友人・グループ（42.4%）」が大半を占める。また、最もあてはまるものをひとつだけ聞いたところ、「夫婦（51.1%）」が約半数となっている。性別の比較では、男性における「夫婦」が女性よりも12.7ポイント高いのに対し、女性における「友人・グループ」が男性よりも9.4ポイント、「家族（子供と）」が10.5ポイント高いのが特徴となっている。また年代別（60代・70代）の比較では、60代において「夫婦」が70代よりも5.7ポイント高いのに対し、70代における「友人・グループ」が60代よりも9.6ポイント高くなっているのが特徴となっている。

◇国内宿泊旅行の旅行相手（n=1800） 単位：%

		ひとり	夫婦	カップル	家族（子供と）	家族（親と）	3世代家族（親と子供と）	3世代家族（子供と孫と）	友人・グループ	行（人）	老人会、会社など）での旅会、団体（特定の団体）	旅行会社主催団体旅行	その他
あてはまるもの													
全体		21.1	65.3	2.3	20.6	4.4	3.7	12.7	42.4	5.7	10.2	3.9	
性別	男性	24.8	75.7	3.2	15.3	2.9	4.0	11.0	37.7	6.9	9.4	1.6	
	女性	17.4	55.0	1.4	25.8	5.9	3.4	14.3	47.1	4.6	10.9	6.2	
年代	60代	22.2	68.1	1.7	22.3	6.4	4.2	13.3	37.8	3.2	7.3	4.0	
	70代	20.0	62.4	3.0	18.7	2.2	3.3	12.0	47.4	8.5	13.2	3.7	
そのうち最もあてはまるもの													
全体		10.6	51.1	0.9	6.5	1.5	0.8	3.8	19.2	1.5	1.9	2.1	
性別	男性	12.3	60.2	1.3	3.7	0.7	1.0	2.9	13.4	2.3	1.7	0.4	
	女性	8.8	42.0	0.6	9.3	2.3	0.7	4.8	25.0	0.7	2.1	3.8	
年代	60代	11.7	52.6	0.6	6.7	2.3	1.2	4.3	16.2	0.9	1.1	2.4	
	70代	9.3	49.5	1.3	6.3	0.6	0.5	3.4	22.5	2.2	2.8	1.7	

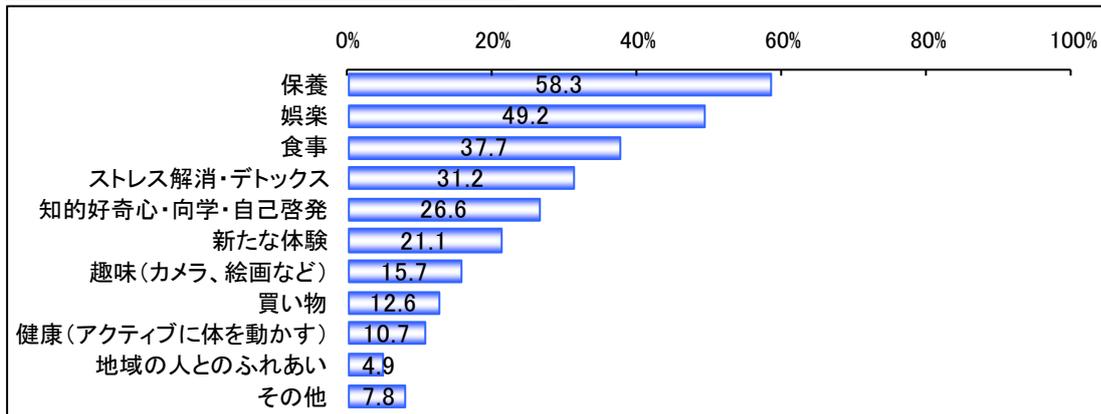
◇国内宿泊旅行の旅行相手（複数回答可）（n=1800） 単位：%

		ひとり	夫婦	カップル	家族（子供と）	家族（親と）	と3世代家族（親と子供）	と3世代家族（子供と孫）	友人・グループ	団体（特定の団体（自治会、老人会、会社など）での旅行）	旅行会社主催団体旅行	その他
全体		21.1	65.3	2.3	20.6	4.4	3.7	12.7	42.4	5.7	10.2	3.9
性別	男性	24.8	75.7	3.2	15.3	2.9	4.0	11.0	37.7	6.9	9.4	1.6
	女性	17.4	55.0	1.4	25.8	5.9	3.4	14.3	47.1	4.6	10.9	6.2
年代	60代	22.2	68.1	1.7	22.3	6.4	4.2	13.3	37.8	3.2	7.3	4.0
	70代	20.0	62.4	3.0	18.7	2.2	3.3	12.0	47.4	8.5	13.2	3.7
性年代	男性 60代	27.6	76.0	2.4	16.7	4.2	4.2	9.3	34.0	4.2	6.7	1.8
	男性 70代	22.0	75.3	4.0	14.0	1.6	3.8	12.7	41.3	9.6	12.2	1.3
	女性 60代	17.2	60.7	1.0	27.4	8.4	4.1	17.0	41.3	2.2	8.0	6.1
	女性 70代	17.8	48.2	1.9	23.8	2.9	2.7	11.2	54.0	7.3	14.4	6.3

■旅行目的のトップ3は「保養」、「娯楽」、「食事」。60代女性は「食事」より「ストレス解消・デトックス」

国内宿泊旅行における旅行目的について聞いたところ、「保養（58.3%）」が最も多く、「娯楽（49.2%）」、「食事（37.7%）」と続く。性別の比較では、少数ではあるが男性における「趣味」が女性よりも9.17ポイント高いのに対し、女性における「ストレス解消・デトックス」が9.2ポイント、「買い物」が6.4ポイント男性よりも高いのが特徴となっている。また、60代女性だけ3位が他の性別年代と異なり、「食事（37.2%）」を上回り「ストレス解消・デトックス（37.4%）」がランクインした。

◇国内宿泊旅行の旅行目的（複数回答可）（n=1800） 単位：%



◇国内宿泊旅行の旅行目的（複数回答可）（n=1800） 単位：%

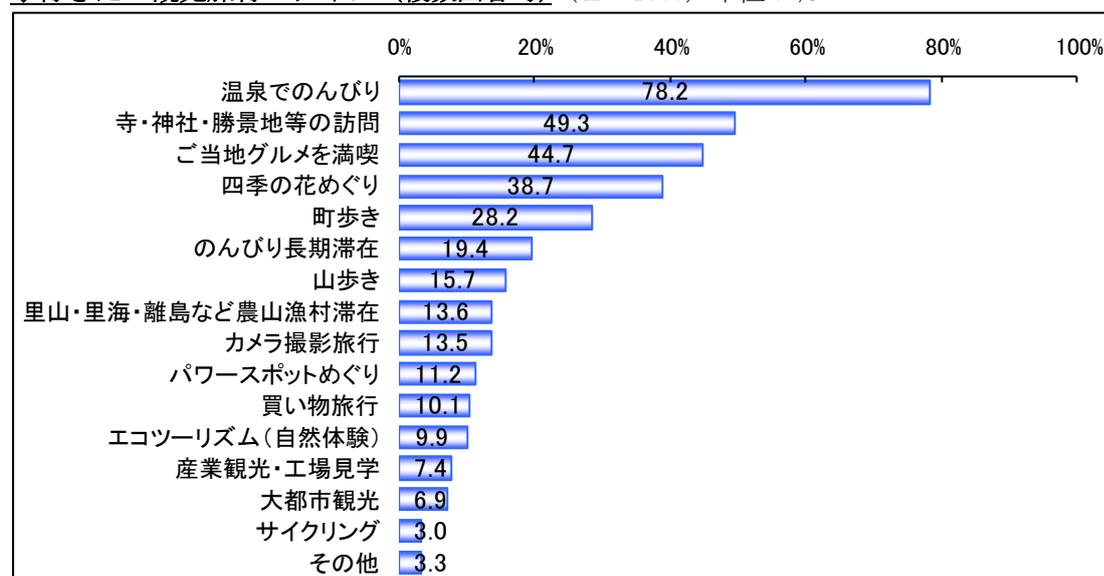
	娯楽	保養	クストレス解消・デトックス	食事	新たな体験	健康（アクティブに体を動かす）	自己啓発	知的好奇心・向学・自己啓発	趣味（カメラ、絵画など）	買い物	地域の人とのふれあい	その他
全体	49.2	58.3	31.2	37.7	21.1	10.7	26.6	15.7	12.6	4.9	7.8	
性別	男性	49.2	58.1	26.6	37.4	23.0	11.0	25.9	20.2	9.4	5.6	8.2
	女性	49.1	58.4	35.8	37.9	19.2	10.3	27.2	11.1	15.8	4.3	7.4
年代	60代	50.7	60.2	33.7	39.0	19.8	8.8	26.4	12.1	12.2	3.6	6.5
	70代	47.5	56.2	28.5	36.2	22.5	12.7	26.7	19.5	13.0	6.4	9.3
性年代	男性 60代	50.7	60.0	29.6	40.9	23.1	9.6	26.0	16.2	9.6	3.3	6.7
	男性 70代	47.8	56.2	23.6	34.0	22.9	12.4	25.8	24.2	9.3	7.8	9.8
	女性 60代	50.7	60.3	37.4	37.2	16.8	8.2	26.8	8.4	14.7	3.9	6.3
	女性 70代	47.2	56.2	33.8	38.7	22.1	12.9	27.7	14.4	17.0	4.9	8.8
地域	首都圏	48.7	61.7	32.7	36.3	22.5	14.3	27.7	16.2	14.2	5.8	8.0
	東海圏	50.7	55.0	33.7	35.0	20.8	10.0	27.0	15.3	11.7	4.3	7.0
	関西圏	48.2	58.2	27.2	41.7	20.0	7.7	25.0	15.5	12.0	4.7	8.5

■行きたい観光旅行のタイプのトップ3は、「温泉」、「寺・神社・勝景地等の訪問」、「ご当地グルメ」

国内宿泊旅行における行きたい観光旅行のタイプについて聞いたところ、「温泉でのんびり（78.2%）」が最も多く、「寺・神社・勝景地等の訪問（49.3%）」、「ご当地グルメを満喫（44.7%）」が次いでいる。

性別、年代別（60代・70代）の比較においては、性別では女性が男性よりも「四季の花めぐり」で13.8ポイント、「買い物旅行」で8.2ポイント高くなっているほか、男性が女性よりも「カメラ撮影旅行」で13.0ポイント高くなっているのが特徴としてあげられる。なかでも「カメラ撮影旅行」では、70代男性の率が高いのが特徴である。

◇行きたい観光旅行のタイプ（複数回答可）（n=1800） 単位：%



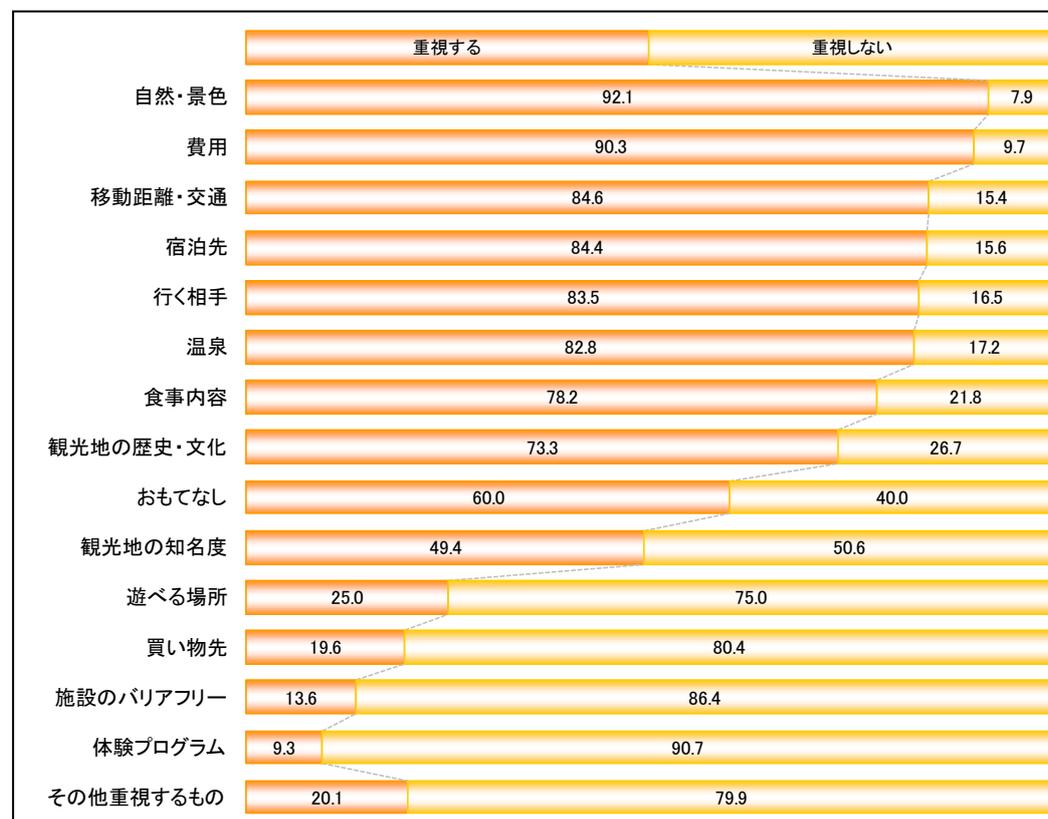
◇行きたい観光旅行のタイプ（複数回答可）（n=1800）単位：％

	温泉でのんびり	寺・神社・勝景地等の訪問	ご当地グルメを満喫	のんびり長期滞在	買い物旅行	四季の花めぐり	農山漁村滞在	里山・里海・離島など	町歩き	山歩き	サイクリング	体験（自然）	エコツーリズム（自然）	カメラ撮影旅行	産業観光・工場見学	パワースポットめぐり	大都市観光	その他
全体	78.2	49.3	44.7	19.4	10.1	38.7	13.6	28.2	15.7	3.0	9.9	13.5	7.4	11.2	6.9	3.3		
性別	男性	78.4	52.3	43.2	18.0	6.0	31.8	15.4	27.9	16.3	4.0	8.3	20.0	8.2	10.0	6.4	3.3	
	女性	77.9	46.2	46.2	20.8	14.2	45.6	11.8	28.6	15.0	2.0	11.6	7.0	6.7	12.3	7.4	3.2	
年代	60代	77.1	49.8	46.6	21.3	10.8	37.1	11.7	30.1	16.8	4.3	9.7	10.0	8.0	11.8	8.2	3.6	
	70代	79.3	48.7	42.6	17.3	9.4	40.4	15.7	26.1	14.4	1.6	10.2	17.3	6.9	10.5	5.6	2.9	
性年代	男性 60代	76.4	49.8	44.9	19.8	7.6	30.0	11.8	28.7	16.7	6.0	7.1	15.3	8.0	10.4	7.8	3.8	
	男性 70代	80.4	54.9	41.6	16.2	4.4	33.6	19.1	27.1	16.0	2.0	9.6	24.7	8.4	9.6	5.1	2.9	
	女性 60代	77.7	49.9	48.3	22.7	13.7	43.6	11.7	31.5	17.0	2.7	12.1	5.1	8.0	13.1	8.6	3.5	
	女性 70代	78.1	41.8	43.8	18.5	14.8	47.9	11.9	25.1	12.7	1.2	10.9	9.2	5.1	11.4	6.1	2.9	
地域	首都圏	75.2	52.0	43.5	23.0	9.7	41.5	15.3	30.2	17.2	3.3	11.3	12.3	7.0	10.3	6.5	3.8	
	東海圏	78.5	49.8	44.3	18.8	10.7	38.3	11.8	28.2	14.7	2.8	8.8	14.5	9.0	11.5	7.3	2.7	
	関西圏	80.8	46.0	46.3	16.3	10.0	36.2	13.7	26.3	15.2	2.8	9.7	13.7	6.3	11.7	7.0	3.3	

■旅行の行き先決定に重視する項目のトップ3は「自然・景色」、「費用」、「移動距離・交通」

国内宿泊旅行の行き先を決定する際に重視する項目について聞いたところ、「自然・景色(92.1%)」が最も多く、「費用(90.3%)」、「移動距離・交通(84.6%)」と続く。以下、「宿泊先」、「行く相手」、「温泉」が80%を超える重要項目となっている。

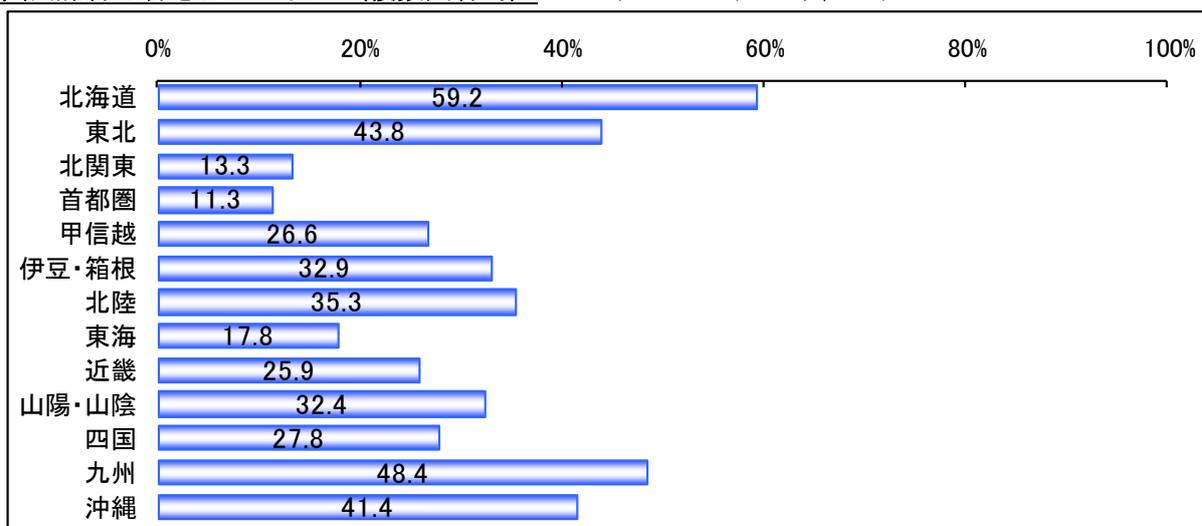
◇国内宿泊旅行の行き先決定に重視する項目（n=1800）単位：％



■「国内旅行で行きたいエリア」のトップ5は、北海道、九州、東北、沖縄、北陸。

国内旅行で行きたいエリアについて聞いたところ、全体では「北海道（59.2%）」が最も多く、「九州（48.4%）」、「東北（43.8%）」、「沖縄（41.4%）」、「北陸（35.3%）」と続く。この順位は居住地に関わらずすべて同じ順位であり、観光地とそのもの持つ需要を示す順位だと考えられる。地域別の傾向では、首都圏における「北陸」への意向が東海圏よりも6.7ポイント、関西圏よりも8.8ポイント高くなっている点が注目される。これは、北陸新幹線開業による需要の高まりであるものと推測される。

◇国内旅行で行きたいエリア（複数回答可）（n=1800） 単位：%



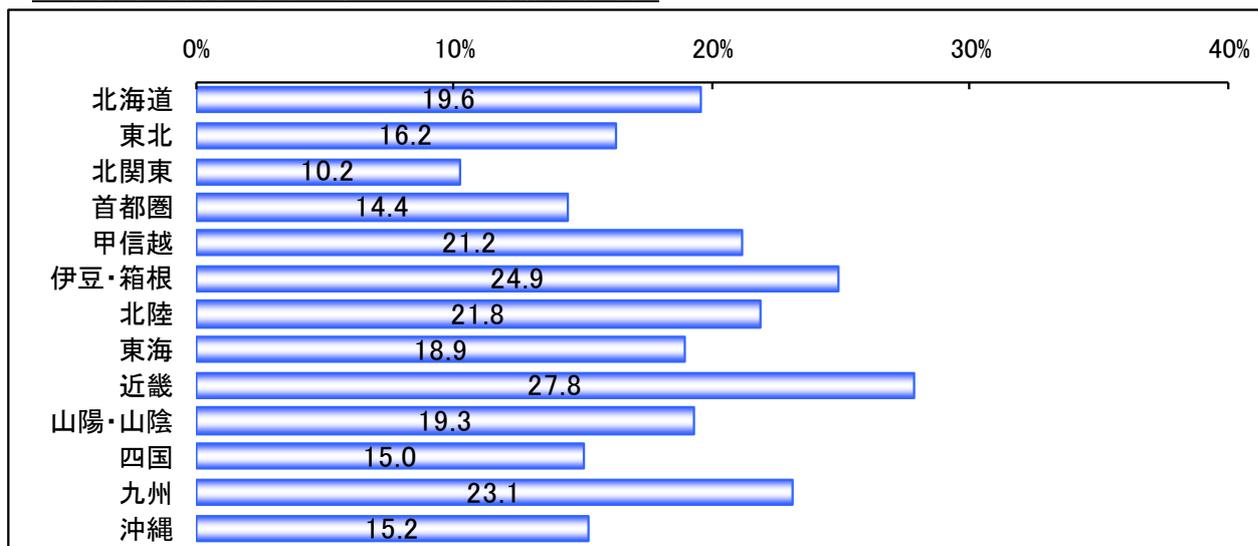
◇国内旅行で行きたいエリア（複数回答可）（n=1800） 単位：%

		北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越	伊豆・箱根	北陸	東海	近畿	山陽・山陰	四国	九州	沖縄
全体		59.2	43.8	13.3	11.3	26.6	32.9	35.3	17.8	25.9	32.4	27.8	48.4	41.4
性別	男性	60.9	46.4	14.8	9.2	30.4	31.0	37.0	18.6	26.8	32.3	30.3	49.1	42.0
	女性	57.6	41.2	11.8	13.4	22.8	34.8	33.7	17.0	25.0	32.4	25.2	47.7	40.8
年代	60代	63.9	42.6	14.2	13.1	24.6	32.6	33.5	17.6	27.1	33.1	30.1	52.1	45.4
	70代	54.1	45.2	12.3	9.4	28.8	33.2	37.3	18.0	24.6	31.6	25.2	44.4	37.0
性年代	男性 60代	66.2	45.3	15.3	10.4	26.9	29.8	35.6	18.2	27.3	31.1	32.7	54.2	46.9
	男性 70代	55.6	47.6	14.2	8.0	34.0	32.2	38.4	18.9	26.2	33.6	28.0	44.0	37.1
	女性 60代	61.8	40.1	13.1	15.5	22.5	35.2	31.7	17.0	26.8	35.0	27.8	50.1	44.0
	女性 70代	52.6	42.6	10.2	10.9	23.1	34.3	36.0	17.0	22.9	29.4	22.1	44.8	37.0
地域	首都圏	59.2	43.7	18.0	5.8	30.2	36.7	40.5	19.8	30.8	36.7	29.5	44.2	41.8
	東海圏	59.5	45.5	10.3	13.3	25.8	31.5	33.8	20.7	24.8	30.3	27.5	47.8	44.0
	関西圏	59.0	42.3	11.5	14.8	23.8	30.5	31.7	12.8	22.0	30.2	26.3	53.2	38.3

◆今年国内旅行で行けそうなエリアは、首都圏では「伊豆・箱根」、東海圏では「東海」、関西圏では「近畿」がトップ

「行きたいエリア」に対し、現実的に「今年行けそうなエリア」について聞いたところ、全体的に「行きたいエリア」よりも回答数は少ないものの、「近畿(27.8%)」が最も多く、「伊豆・箱根(24.9%)」、「九州(23.1%)」と続く。居住地域別では特徴が出ており、首都圏においては「伊豆・箱根」、「甲信越」、「北関東」、「東北」が、東海圏においては「東海」、が、関西圏においては「近畿」、「山陽・山陰」、「四国」などが他地域よりも多くなっており、地元周辺地域への旅行が現実的な旅行先となっている。

◇今年国内旅行で行けそうなエリア（複数回答可）（n=1800）単位：%



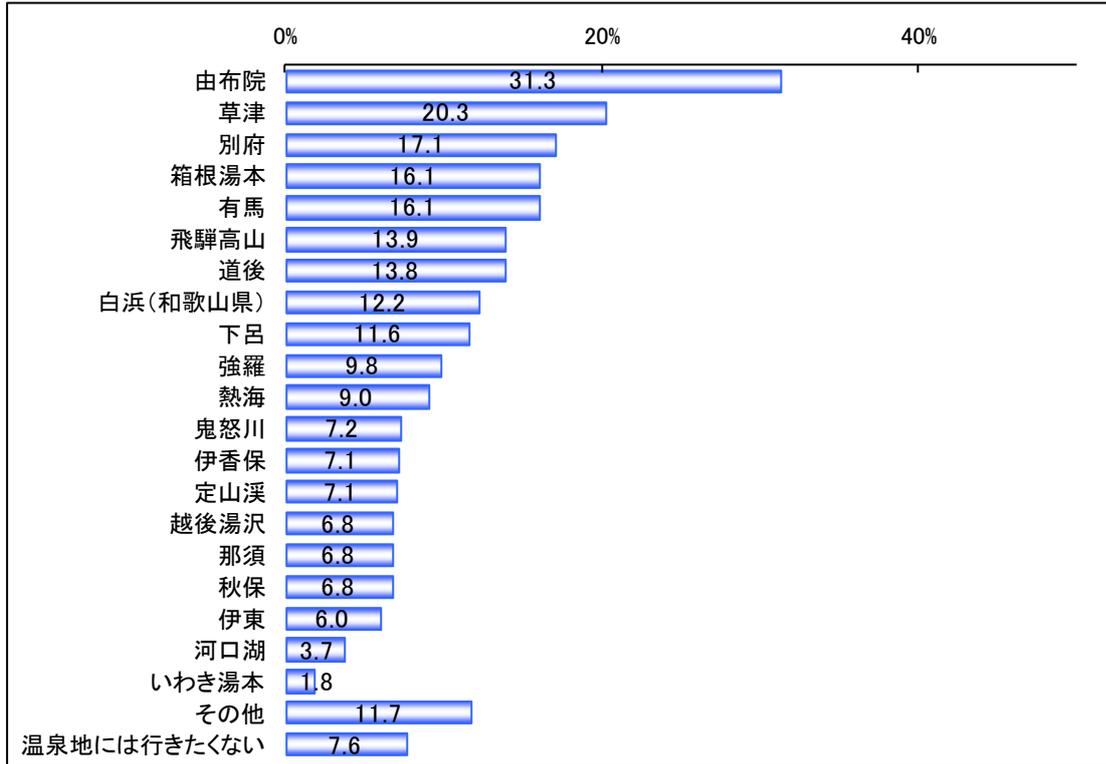
◇今年国内旅行で行けそうなエリア（複数回答可）（n=1800）単位：%

		北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越	伊豆・箱根	北陸	東海	近畿	山陽・山陰	四国	九州	沖縄
全体		19.6	16.2	10.2	14.4	21.2	24.9	21.8	18.9	27.8	19.3	15.0	23.1	15.2
性別	男性	20.8	18.8	11.1	14.1	22.8	25.2	25.0	20.1	27.8	18.7	17.1	23.9	13.9
	女性	18.3	13.7	9.2	14.7	19.6	24.6	18.7	17.8	27.8	19.9	12.9	22.2	16.4
年代	60代	22.7	16.6	9.6	15.7	19.0	22.2	21.3	19.3	28.1	19.6	15.1	24.8	17.9
	70代	16.1	15.8	10.8	13.0	23.6	27.9	22.4	18.6	27.4	18.9	14.9	21.1	12.2
性年代	男性 60代	26.2	20.9	10.2	13.6	20.4	22.9	24.0	20.7	28.7	18.4	16.4	26.0	16.9
	男性 70代	15.3	16.7	12.0	14.7	25.1	27.6	26.0	19.6	26.9	18.9	17.8	21.8	10.9
	女性 60代	19.4	12.7	9.0	17.6	17.6	21.5	18.8	18.0	27.6	20.7	13.9	23.7	18.8
	女性 70代	17.0	14.8	9.5	11.2	21.9	28.2	18.5	17.5	28.0	19.0	11.7	20.4	13.6
地域	首都圏	22.7	24.0	19.8	10.2	27.7	37.2	22.3	17.5	25.0	16.7	11.3	21.8	14.5
	東海圏	18.5	12.7	6.0	15.7	21.3	24.2	22.2	27.7	27.5	15.3	12.5	19.2	14.5
	関西圏	17.5	12.0	4.7	17.3	14.5	13.3	21.0	11.7	30.8	25.8	21.2	28.2	16.5

■行きたい温泉地は、「由布院（大分県）」が3地域ともにトップ。全体では2位が「草津」、3位が「別府」

「行きたい温泉地」について国内の代表的な温泉地を選択肢として聞いたところ、「由布院（31.3%）」が最も多く、「草津（20.3%）」、「別府（17.1%）」、「箱根湯本（16.1%）」、「有馬（16.1%）」（同率）と続く。居住地域別としては「由布院」が各地域でトップとなり、首都圏の2位が「草津」、3位が「箱根湯本」、東海圏の2位が「草津」、3位が「別府」、関西圏の2位・3位が同率で「有馬」、「別府」となっている。

◇行きたい温泉地（3つまで回答可）（n=1800） 単位：%



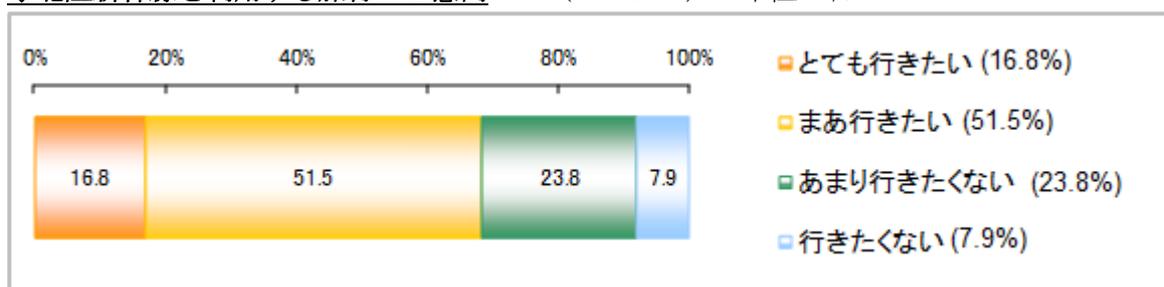
◇行きたい温泉地（3つまで回答可）（n=1800） 単位：%

	熱海	別府	那須	白浜 (和歌山県)	伊東	草津	鬼怒川	道後	秋保	強羅	箱根湯本	由布院	下呂	伊香保	有馬	飛騨高山	定山溪	越後湯沢	河口湖	いわき湯本	その他	温泉地には行きたくない
全体	9.0	17.1	6.8	12.2	6.0	20.3	7.2	13.8	6.8	9.8	16.1	31.3	11.6	7.1	16.1	13.9	7.1	6.8	3.7	1.8	11.7	7.6
性別																						
男性	9.2	18.0	6.7	11.1	7.4	20.0	8.0	14.8	7.2	10.3	15.3	29.9	13.1	6.9	14.3	14.2	7.7	6.0	3.7	1.8	14.0	7.4
女性	8.8	16.2	6.9	13.3	4.6	20.6	6.4	12.9	6.3	9.3	16.9	32.7	10.1	7.3	17.8	13.6	6.4	7.6	3.8	1.8	9.4	7.8
年代																						
60代	8.7	19.2	6.1	11.0	4.3	20.3	6.4	16.0	5.1	8.4	15.8	33.7	11.1	7.8	15.3	13.2	7.0	5.2	3.4	1.6	12.7	7.9
70代	9.3	14.9	7.5	13.6	7.9	20.2	8.1	11.5	8.6	11.4	16.5	28.7	12.2	6.4	16.8	14.6	7.1	8.5	4.1	2.0	10.7	7.3
性年代																						
男性 60代	9.1	21.1	5.3	10.7	5.1	21.6	6.7	16.4	5.3	7.3	16.0	31.1	11.1	6.0	14.4	14.7	8.7	3.8	3.3	1.3	14.7	8.0
男性 70代	9.3	14.9	8.0	11.6	9.8	18.4	9.3	13.1	9.1	13.3	14.7	28.7	15.1	7.8	14.2	13.8	6.7	8.2	4.0	2.2	13.3	6.9
女性 60代	8.4	17.4	6.7	11.2	3.5	19.2	6.1	15.5	4.9	9.4	15.5	36.0	11.0	9.4	16.2	11.9	5.5	6.5	3.5	1.8	10.8	7.8
女性 70代	9.2	14.8	7.1	15.8	5.8	22.1	6.8	9.7	8.0	9.2	18.5	28.7	9.0	4.9	19.7	15.6	7.5	8.8	4.1	1.7	7.8	7.8
地域																						
首都圏	10.3	15.2	8.8	10.0	8.2	23.2	7.8	11.2	8.7	12.8	19.3	29.2	8.2	8.0	14.3	12.2	7.2	4.8	2.7	1.8	12.0	10.0
東海圏	8.3	17.8	6.8	10.3	6.2	21.0	8.0	13.3	6.8	10.3	14.0	30.8	15.3	7.2	15.5	14.8	6.5	6.7	4.2	2.2	12.0	5.3
関西圏	8.3	18.3	4.7	16.3	3.7	16.7	5.8	17.0	4.8	6.3	15.0	33.8	11.3	6.2	18.3	14.7	7.5	8.8	4.3	1.3	11.2	7.5

■首都圏の8割以上が、北陸新幹線を利用する旅行を希望（全体でも68.3%が希望）

3月14日に金沢・富山～東京間の開業を迎える北陸新幹線を利用する旅行について聞いたところ、全体では「とても行きたい（16.8%）」、「まあ行きたい（51.5%）」の合計68.3%が旅行意向を示している。居住地域別では、首都圏が他地域よりも圧倒的に多く、「とても行きたい（28.2%）」と「まあ行きたい（55.3%）」を合計すると83.5%の人が北陸新幹線を利用する旅行への意向を示している。また、東海圏でも54.8%、関西圏でも66.5%と半数以上の人が意向を示している点も注目される。

◇北陸新幹線を利用する旅行への意向（n=1800） 単位：%



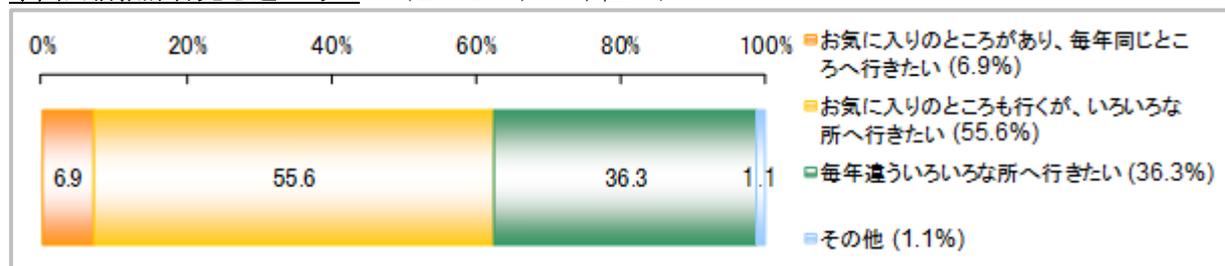
◇北陸新幹線を利用する旅行への意向（n=1800） 単位：%

		とても行きたい	まあ行きたい	あまり行きたくない	行きたくない
全体		16.8	51.5	23.8	7.9
性別	男性	14.8	48.3	26.0	10.9
	女性	18.8	54.7	21.6	5.0
年代	60代	16.0	51.4	24.5	8.1
	70代	17.7	51.6	23.0	7.8
性年代	男性 60代	15.1	47.1	26.7	11.1
	男性 70代	14.4	49.6	25.3	10.7
	女性 60代	16.8	55.4	22.5	5.3
	女性 70代	21.2	53.8	20.4	4.6
地域	首都圏	28.2	55.3	14.0	2.5
	東海圏	10.0	44.8	34.0	11.2
	関西圏	12.2	54.3	23.3	10.2

■国内宿泊旅行先を選ぶ考えとしては「お気に入りのところもいくが、いろいろな所へ行きたい」が約半数

国内宿泊旅行先を選ぶ考えについて聞いたところ、「お気に入りのところも行くが、いろいろな所へ行きたい（55.6%）」が半数以上となっている。

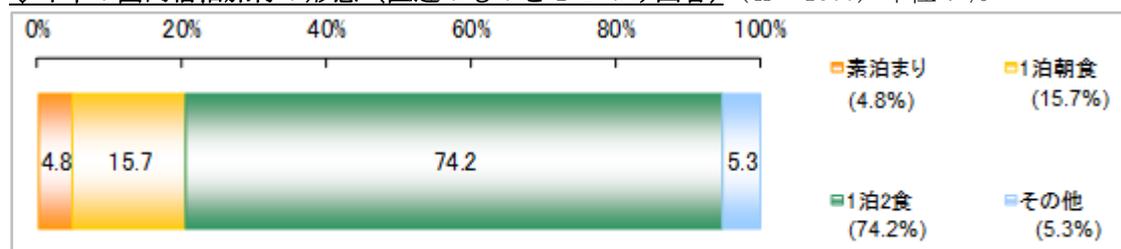
◇国内宿泊旅行先を選ぶ考え（n=1800） 単位：%



■宿泊の形態は「1泊2食」が74.2%

昨年、実際に旅行した宿泊形態について聞いたところ、「1泊2食（74.2%）」が最も多くなっている。

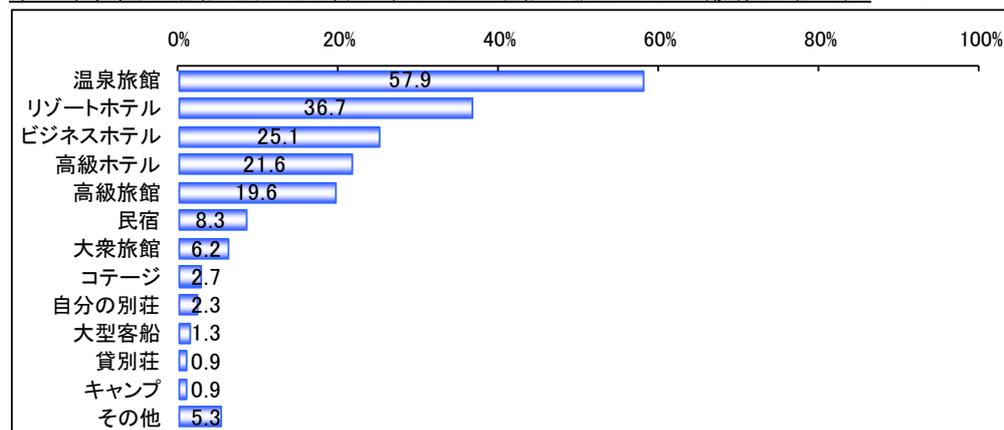
◇昨年の国内宿泊旅行の形態（直近のものを1つのみ回答）（n=1800） 単位：%



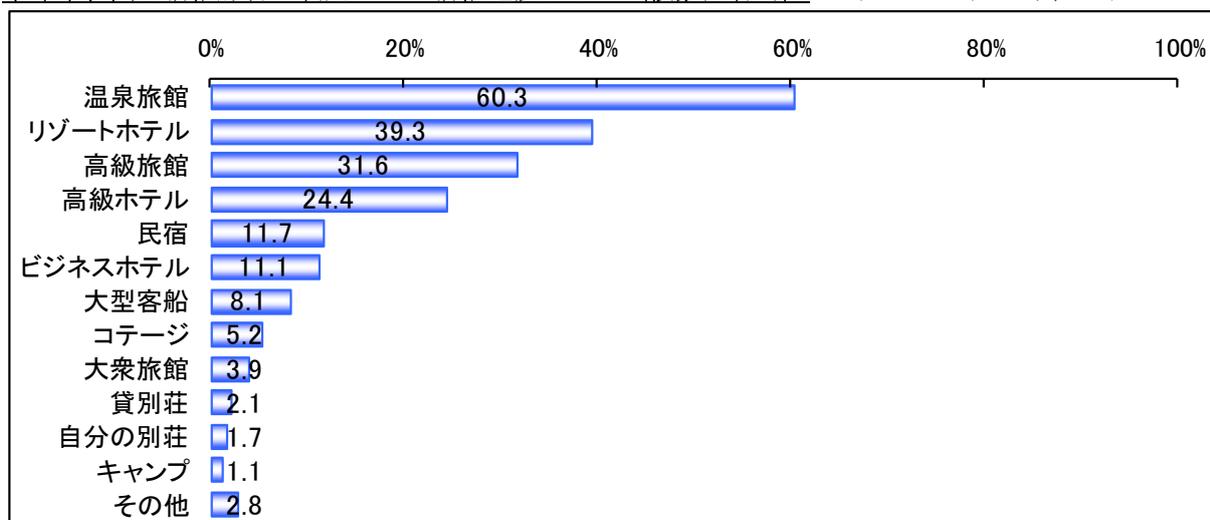
■実際に泊まった宿泊施設も、今後泊まりたい宿泊施設も温泉旅館がトップ

国内宿泊旅行において、実際に利用した宿泊施設タイプと利用したい宿泊施設タイプについて聞いたところ、実際に利用した宿泊施設タイプでは、「温泉旅館（57.9%）」がトップで、次いで「リゾートホテル（36.7%）」が2位、「ビジネスホテル（25.1%）」が3位と続く。一方、利用したい宿泊施設タイプは、実際に利用した施設と同順位で1位「温泉旅館（60.3%）」、2位「リゾートホテル（39.3%）」と続くが、3位が「高級旅館（31.6%）」で、実際に利用した率と比べて12ポイント高くなっていることから、現実と比べて高級旅館への希望が高いことがわかる。

◇昨年、国内宿泊旅行で実際に利用した宿泊施設タイプ（複数回答可）（n=1800） 単位：%



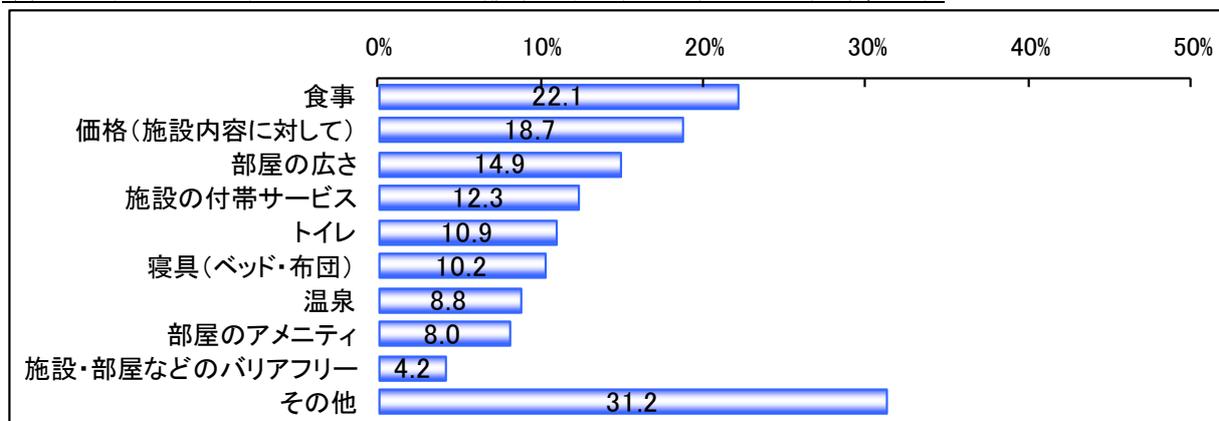
◇今年、国内宿泊旅行で利用したい宿泊施設タイプ（複数回答可）（n=1800） 単位：%



■国内宿泊旅行の宿泊先で不満に思う事項は「食事」がトップ

国内宿泊旅行の宿泊先における不満事項について聞いたところ、「食事（22.1%）」が最も多く、「価格（18.7%）」、「部屋の広さ（14.9%）」が続く。

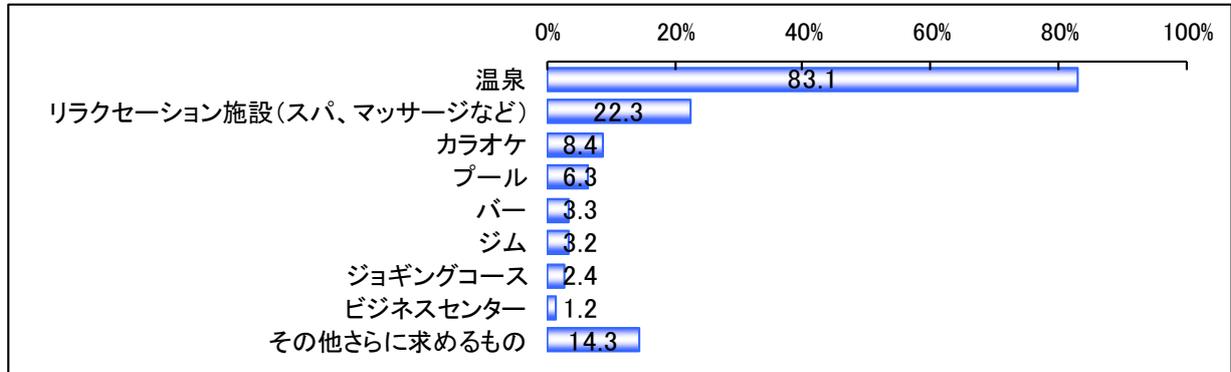
◇国内宿泊旅行の宿泊先における不満（複数回答可）（n=1800） 単位：%



■宿泊施設に求めるサービス・おもてなしでは、「温泉」が圧倒的多数

宿泊施設に求めるサービス・おもてなしについては、「温泉（83.1%）」が圧倒的に高くなっている。

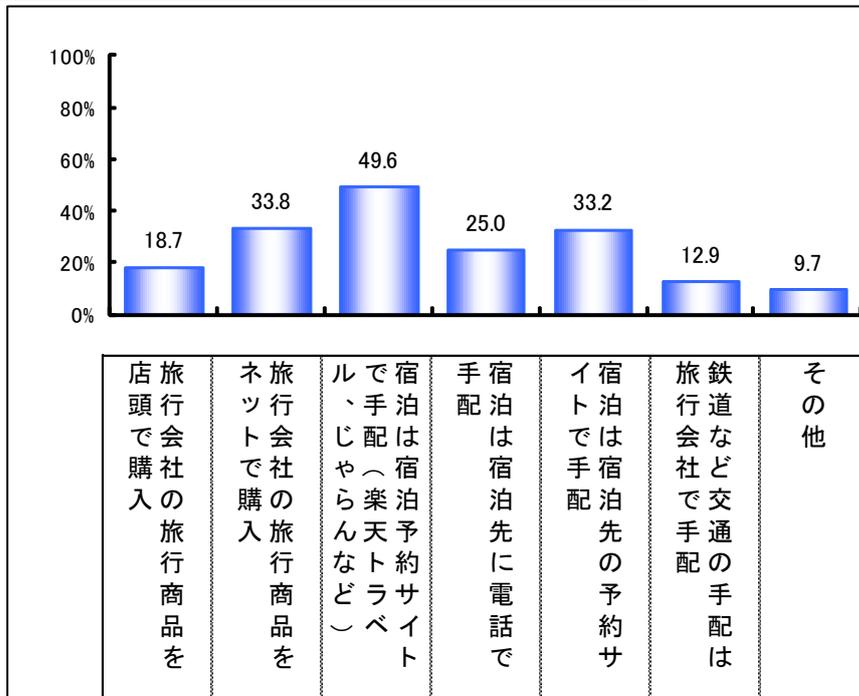
◇宿泊施設に求めるサービス・おもてなし（複数回答可）（n=1800） 単位：%



■国内宿泊旅行の手配は、「宿泊予約サイト」がトップ、2位が「旅行会社の旅行商品をネットで購入」

国内宿泊旅行をする際の旅行手配方法について聞いたところ、「宿泊は宿泊予約サイトで手配（49.6%）」が最も高く、「旅行会社の旅行商品をネットで購入（33.8%）」、「宿泊は宿泊先の予約サイトで手配（33.2%）」と続く。

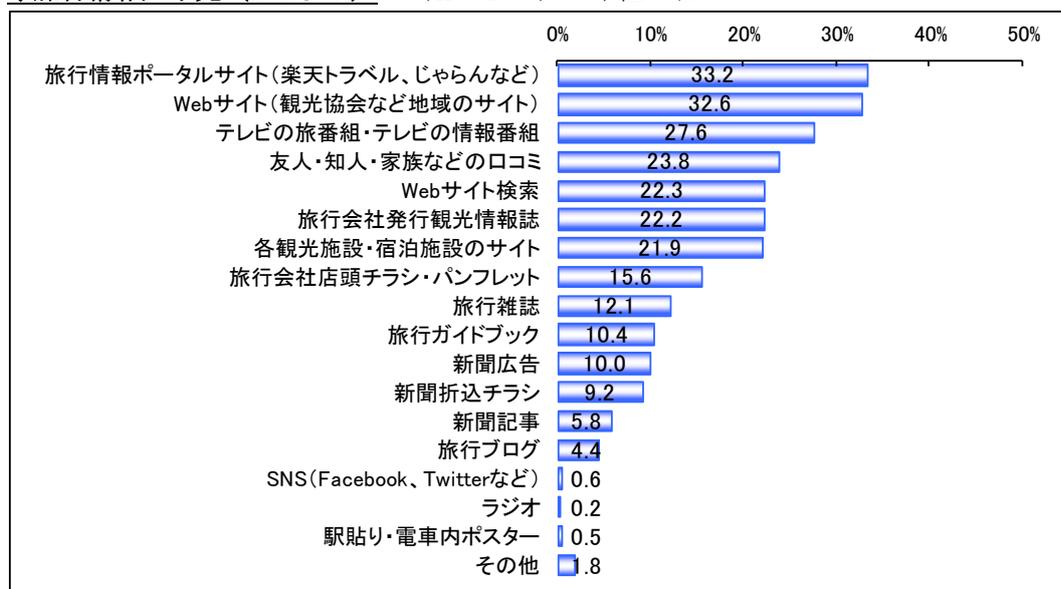
◇国内宿泊旅行をする際の旅行手配の方法（複数回答可）（n=1800） 単位：%



■旅行情報入手先のトップ3は「旅行情報ポータルサイト」、「Webサイト（観光協会など）」、「テレビの旅番組・情報番組」

旅行情報入手先について聞いたところ、「旅行情報ポータルサイト（楽天トラベル、じゃらんなど）（33.2%）」が最も高く、「Webサイト（観光協会など地域のサイト）（32.6%）」、「テレビの旅番組・テレビの情報番組（27.6%）」と続く。

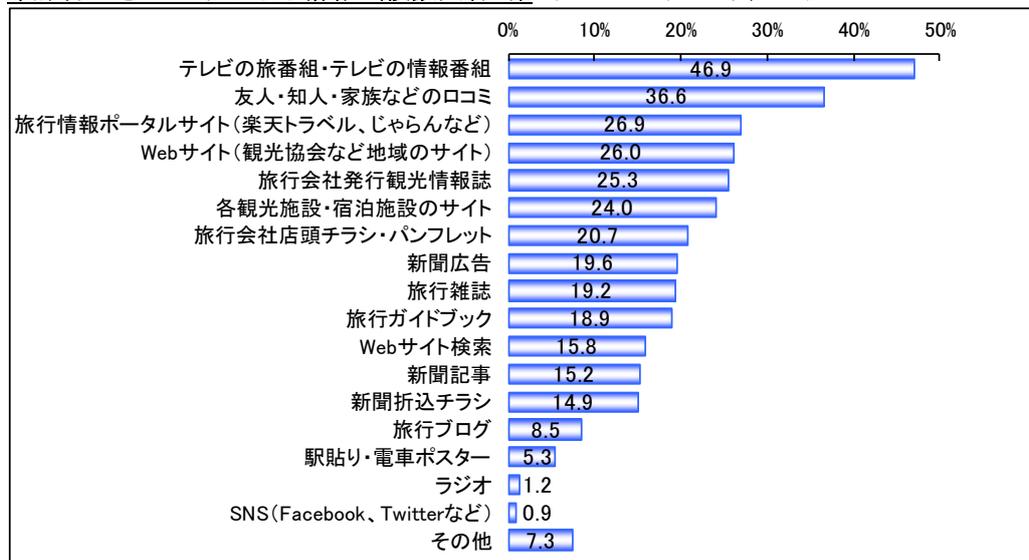
◇旅行情報入手先（3つまで）（n=1800） 単位：%



■旅行にいきたいと思うきっかけのトップ3は「テレビ番組」、「口コミ」、「旅行情報ポータルサイト」

旅行にいきたいと思うきっかけについて聞いたところ「テレビの旅番組・テレビの情報番組（46.9%）」が最も高く、次に「友人・知人・家族などの口コミ（36.6%）」、「旅行情報ポータルサイト（楽天トラベル、じゃらんなど）（26.9%）」と続き、情報入手先と比べると実際の旅行行動につながるきっかけとして、テレビや口コミの割合が高くなっていることがわかる。

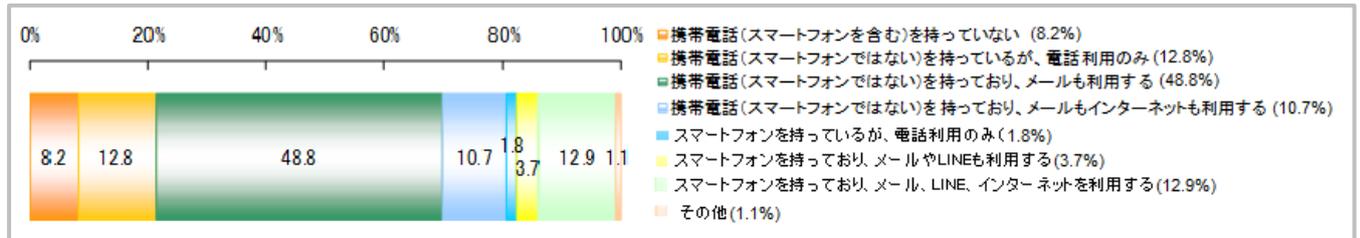
◇旅行のきっかけとなる情報（複数回答可）（n=1800） 単位：%



■スマートフォンを所有し、ネットも活用する人は12.9%

スマートフォンの所有、またその利用内容について聞いたところ、スマートフォン所有者は合計で18.4%で、「スマートフォンを持っており、メール、LINE、インターネットも活用する」人は12.9%となっている。

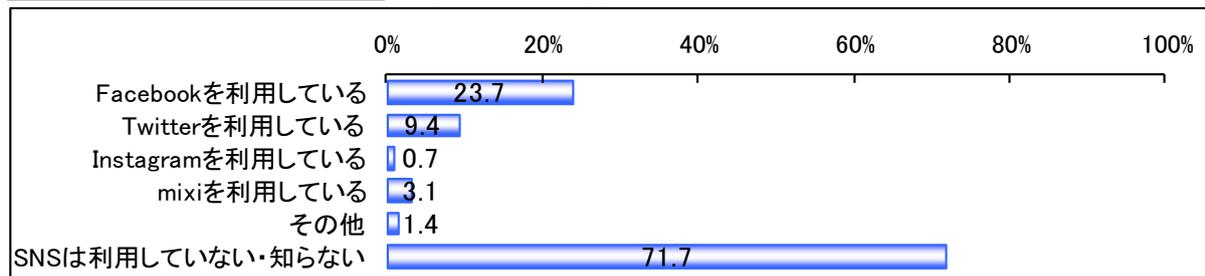
◇携帯電話とスマートフォンの利用状況 (n=1800) 単位：%



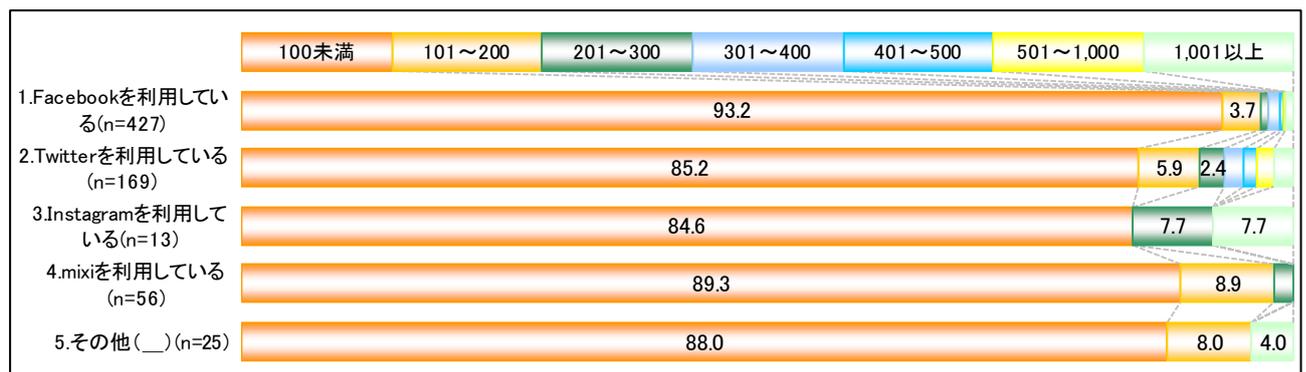
■SNS利用者は約3割。最も多く利用されているSNSは「Facebook」

SNS(ソーシャルネットサービス)の利用者は、Facebook、Twitterなどを含め28.3%(利用していない人から逆算)で、そのうち最も多く利用されているSNSは「Facebook」となった。また、それらのフォロワー数については「100未満」が圧倒的に多い。

◇SNSの利用(複数回答可) (n=1800) 単位：%



◇SNSのフォロワー数 単位：%



【調査概要】

調査エリア : 首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、東海圏（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）、関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県）、各地域600人
調査対象者 : 60歳～79歳 男女、過去1年間に宿泊旅行を経験している人
回収サンプル数 : 1,800サンプル
調査期間 : 2015年2月5日から2月7日
調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 トラベル事業 PRグループ（担当：鳥海）
TEL：050-5817-1665 E-mail: trv-pr@mail.rakuten.com